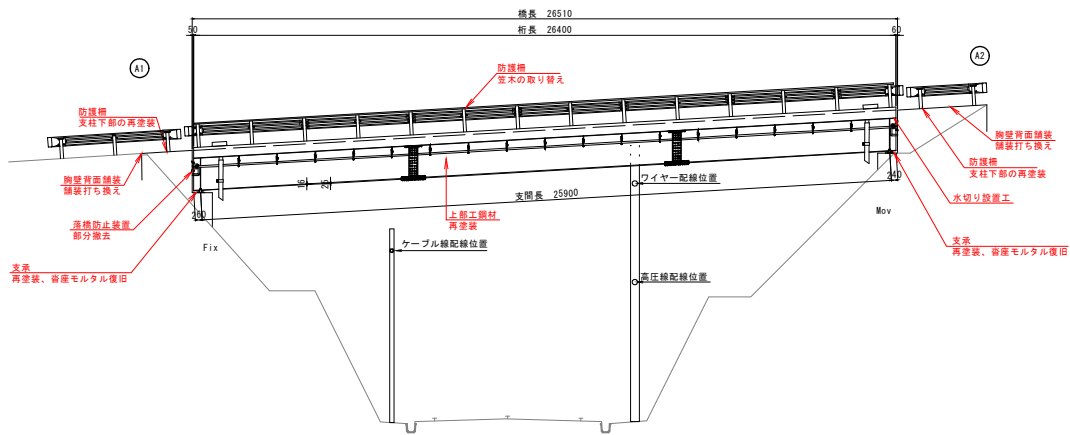
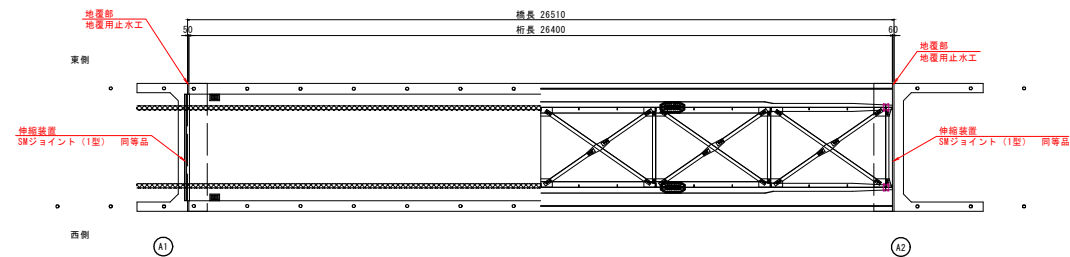


補修一般図

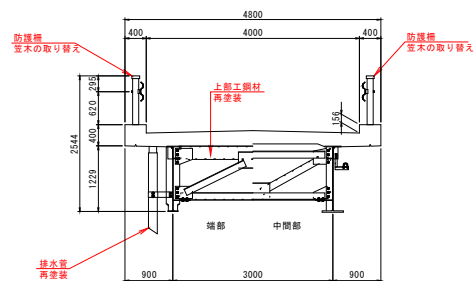
側 面 図 S=1/100



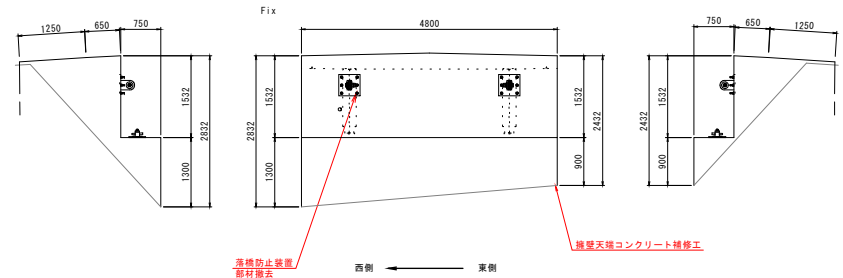
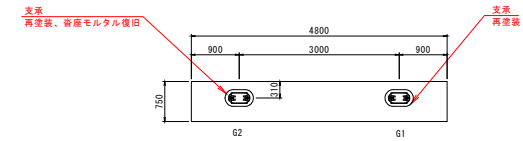
平面图 S=1/100



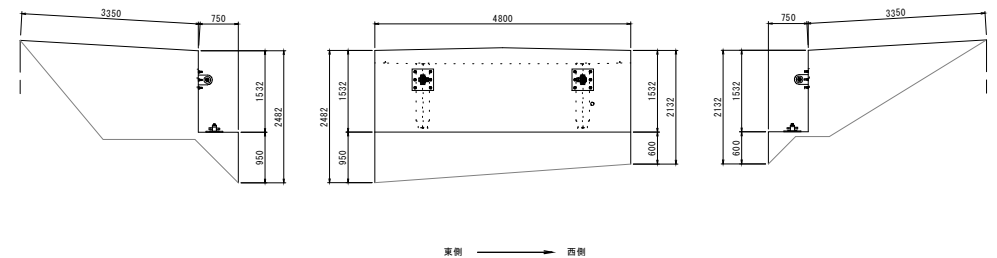
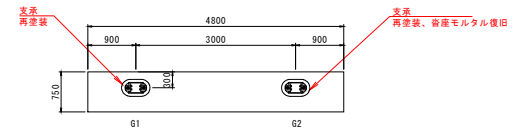
断面图 S=1/50



A1橋台 S=1/50

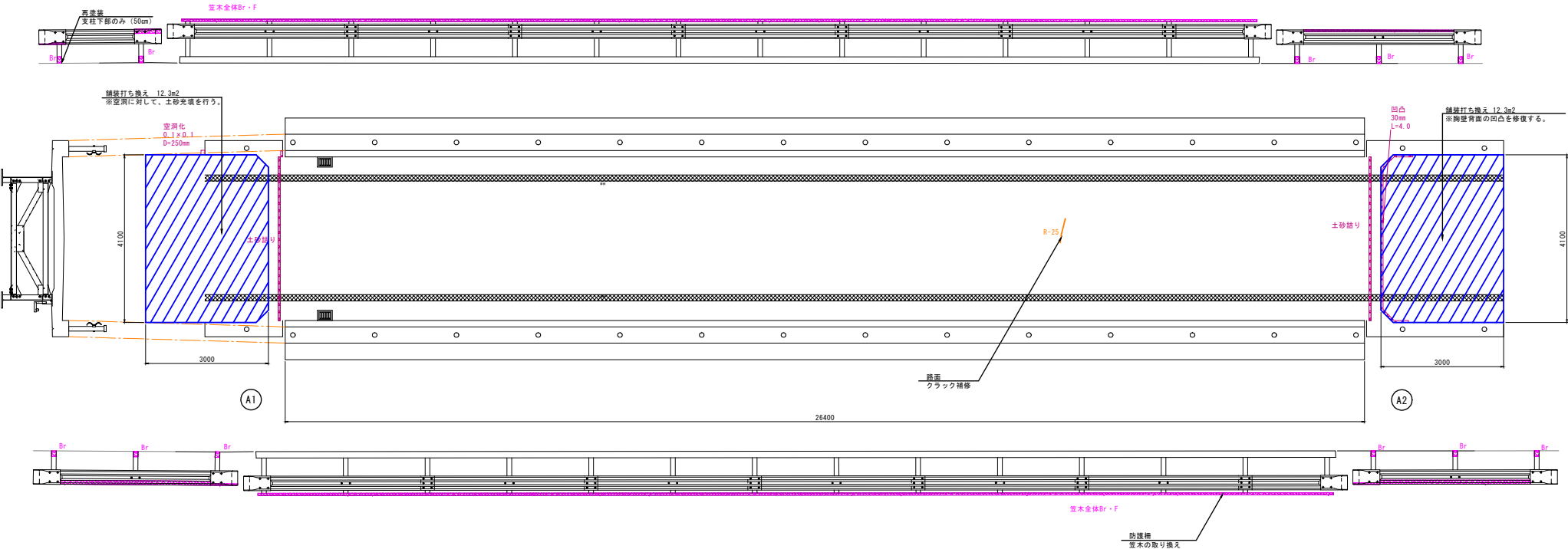


A2橋台 S=1/50



路線名	農 道		
岩船橋橋梁修繕工事			
図 名	補修一般図		
位 置	茅浦町大字八橋		
縮 尺	図 示	単 位	mm
図 号	全 7	葉 中 の 内	1
令和 4 年度施行			
茅浦町役場			

上部工補修図（その１）



路面 ひびわれ補修数量表

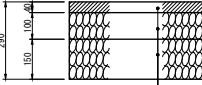
No.	幅 (mm)	長さ (m)
R-25	1.00	0.60
合計	0.60	

※常温型補修工法 RC常温メンテ同等品を用いて、路面クラック補修を行う。

舗装打ち換え\_数量表

	長辺 (m)	短辺 (m)	面積 (㎡)
起点側	4.1	3.0	12.3
終点側	4.1	3.0	12.3
合計			24.6

舗装標準図 S=1/10



設計C値R=8%

表層(再生粗粒度A<sub>6</sub>)  
上層路層(粒度調整砕石 M-30)  
下層路層(再生クラッシャーラン RC-40)

防護柵修復工数量表

数量表	2 m用	26枚
空木	4枚	
支柱部 (翼壁部のみ)	(0.114 × π × 0.5) × 6 = 1.07㎡	
支柱塗り替え	計	1.07㎡

※支柱塗り替えは、翼壁部の支柱6本を対象とする。  
また、50cm (支柱の土中長さ40cm+下部から10cm) を防護処理面積とする。  
塗り替えは、素地調整 (4種ケレン) をした後、常温重鉛めっきローパルで防護処理 (2面塗り) を行う。  
塗り替え後、伸縮装置で使用したシール材を支柱下部の隙間に詰め止水工を行う。

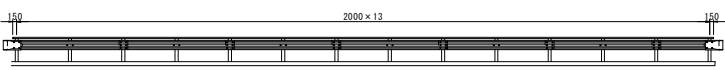
支柱塗替え仕様

塗装工程	塗装名	使用量 (g/㎡)	塗装間隔
素地調整	2種		4時間以内
上塗	常温重鉛めっき ローパル	500	
上塗	常温重鉛めっき ローパル	500	30分

断面図



側面図 S=1:100



損傷の凡例

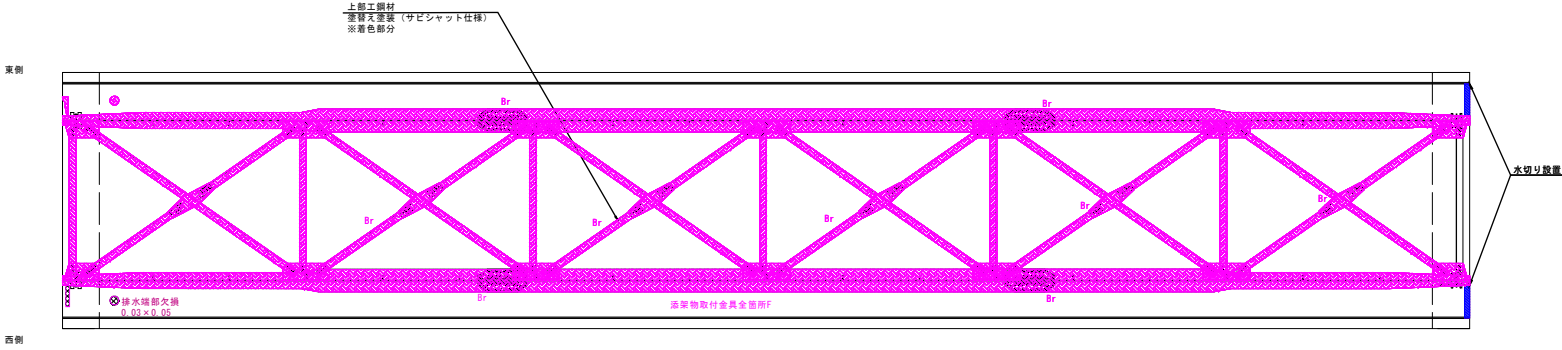
ひびわれ	w ≤ 0.3mm	
	0.3mm < w ≤ 0.5mm	
	0.5mm < w ≤ 1.0mm	
	1.0mm < w	
剥離・鉄筋露出	剥離・ジャンカ	
	鉄筋露出	
うき		
湧水・湧水	湧水	
	湧水	
	湧水	
腐食	腐食	
	腐食	
遊離石灰		
その他		

路線名	農 道
岩船橋橋梁修繕工事	
図 名	上部工補修図 (その1)
位 置	琴浦町大字八橋
縮 尺	図示 単 位 mm
図 号	全 7 葉中の内 2
令和 4 年度施行	
琴浦町役場	

※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。  
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

上部工補修図（その2）

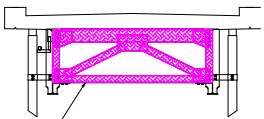
桁下面 S=1:50



A1

A2

横桁・対傾構詳細図 S=1:50



上部工鋼材  
塗装工事  
※着色部分

主桁等\_塗装塗り替え数量表

	面積 (㎡)
主桁	192.50
対傾構	28.62
下横構	29.09
ガセットプレート	7.58
合計	257.79

排水管詳細図 S=1:30



排水管\_塗装塗り替え数量表

	面積 (㎡)
排水管	0.81
合計	1.62

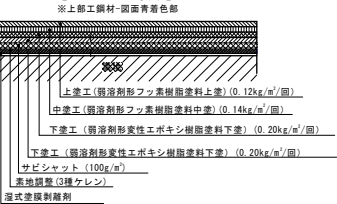
支承詳細図 S=1:25



支承\_塗装塗り替え数量表

	面積 (㎡)
支承	0.13
合計	0.52

【RC-Ⅲ塗装系】



塗装工程	塗装名	使用量 (g/㎡)	塗装間隔
素地調整	3種		4時間以内
下塗	サビシャット	100	1日～10日
下塗	弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗	弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗	弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料下塗	140	1日～10日
上塗	弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料上塗	120	1日～10日

- ※鋼材塗装時の留意事項
- 塗装塗り替え対象は全ての鋼部材（全面塗り替え）とする。
  - 素地調整の種類は3種ケレンを想定。
  - 十分な接着効果を得るために、施工対象となる鋼部材の不純物（油、ごみ等）を十分に除去すること。
  - 塗装面のケレンは十分に行うこと。
  - 気温5℃以下、湿度85RH%以上では施工しないこと。
  - 塗布量は標準使用量以上とすること。
  - 施工後の材料が乾燥するまで、塗布面が濡れないこと。
  - 材料は可使用時間内に塗布を行い、可使用時間を過ぎたものについて使用しないこと。

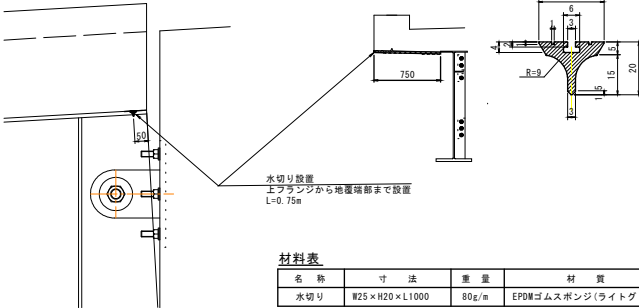
水切り詳細図

※ウォーターカッター同等品

S=1:10

S=1:30

水切り材断面図 S=1:1



材料表

名称	寸法	重量	材質
水切り	W25×H20×L1000	80g/m	EPDMゴムスポンジ(ライトグレー)

損傷の凡例

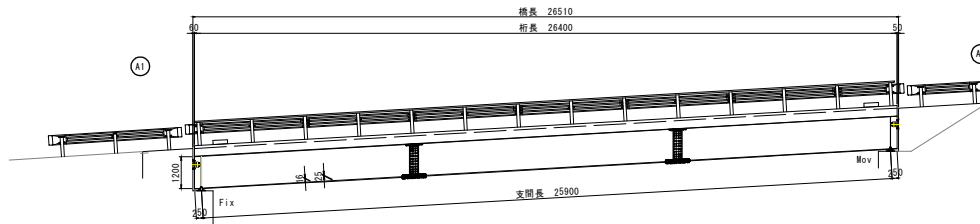
ひびわれ	$w \leq 0.3mm$	
	$0.3mm < w \leq 0.5mm$	
	$0.5mm < w \leq 1.0mm$	
	$1.0mm < w$	
剥離・鉄筋露出	剥離・ジャンカ	
	鉄筋露出	
うき	うき	
	漏水・滲水	
錆	発錆	
	腐食	
遊離石灰	遊離石灰	
	その他	

※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。  
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

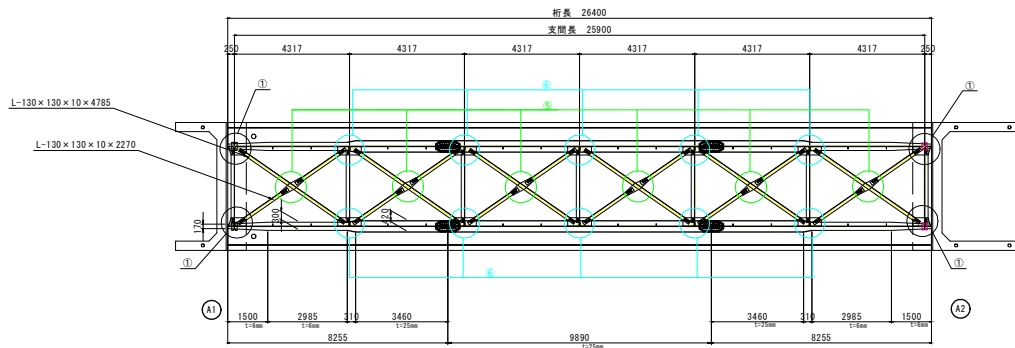
路線名	農 道		
岩船橋橋梁修繕工事			
図 名	上部工補修図（その２）		
位 置	琴浦町大字八橋		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全 7 葉中の内 3		
令和 4	年度施行		
琴浦町役場			

〈塗替え塗装詳細図〉

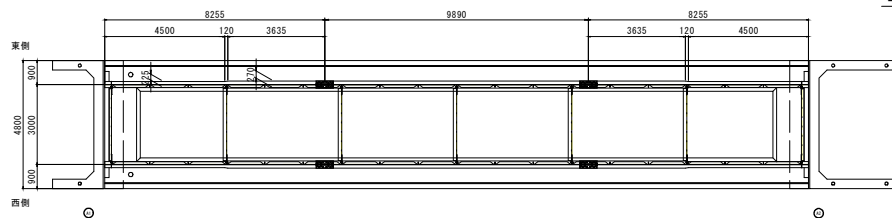
側 面 図 S=1/100



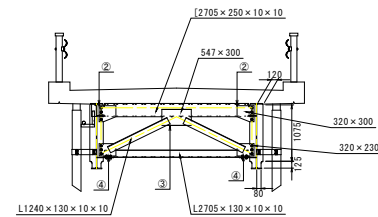
下機構・主桁下FL S=1/100



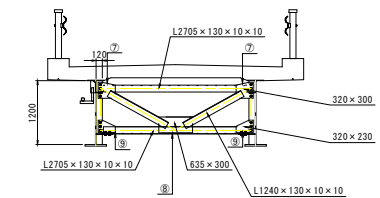
対傾構・主桁上FL  $S=1/100$



端部对倾構  $S=1/50$



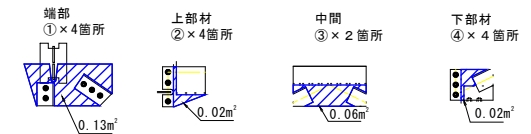
中間対傾構 S=1/50



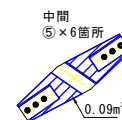
### ガセットプレート詳細図

S=1/20

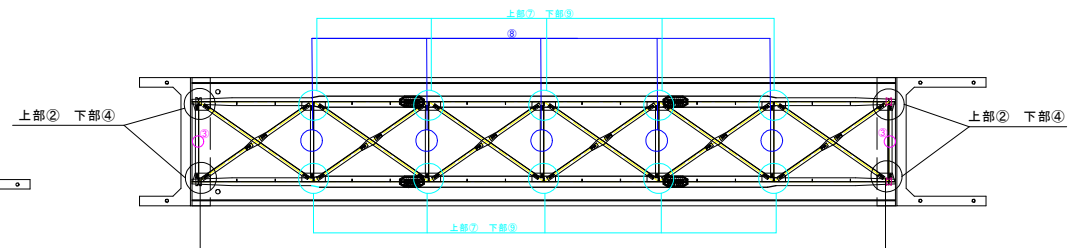
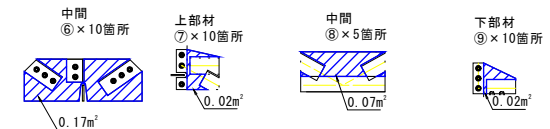
〈端部対傾構〉



〈下横構〉



〈中間対傾構〉



路線名	農 道		
岩船橋橋梁修繕工事			
図 名	上郷工修図（その3） （変更・変更詳細図）		
位 置	茅渚町大字八橋		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全 7 葉中の内 4		
令和 4	年度施行		
茅渚町役場			

下部工補修図

A1橋台 S=1:50

支承部  
寄座モルタル復旧工数量表 (2箇所当たり)

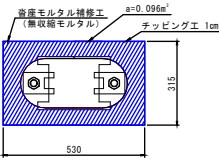
寄座モルタル	高さ (m)	面積 (㎡)	体積 (m³)
A1橋台 G2側	0.04	0.096	0.004
A2橋台 G2側	0.04	0.096	0.004
合計			0.008

チップング工、寄座型枠 数量表 (2箇所当たり)

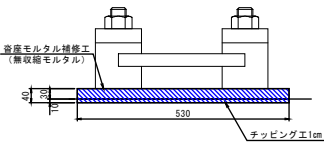
	単位	数量
チップング工	㎡	0.192
寄座型枠	㎡	0.101

寄座モルタル詳細図

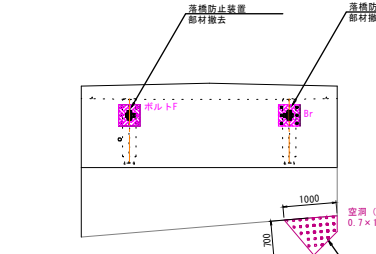
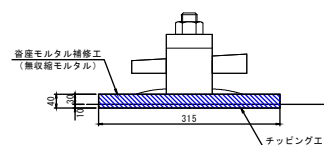
(平面図)



(正面図)

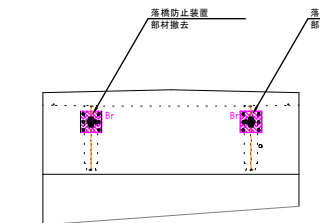
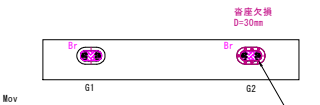


(側面図)



橋脚天端コンクリート修復工  
※空洞が生じている箇所の橋脚天端コンクリートを撤去し、土砂搬出し状況を把握する。  
その上で、空洞部に土砂充填を行い、コンクリート打設にて復旧する。

A2橋台 S=1:50



A1橋台前面ブロック コンクリート打換工  
コンクリート・土砂充填 数量表

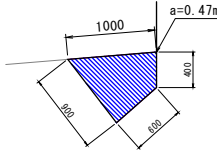
	面積 (㎡)	奥行幅 (m)	体積 (m³)
コンクリート量	0.7	0.2	0.14
充填土砂量	1.0	0.3	0.3

コンクリート打設型枠 数量表

	単位	数量
コンクリート打設型枠	㎡	0.47

コンクリート打設型枠詳細図

(正面図)



損傷の凡例

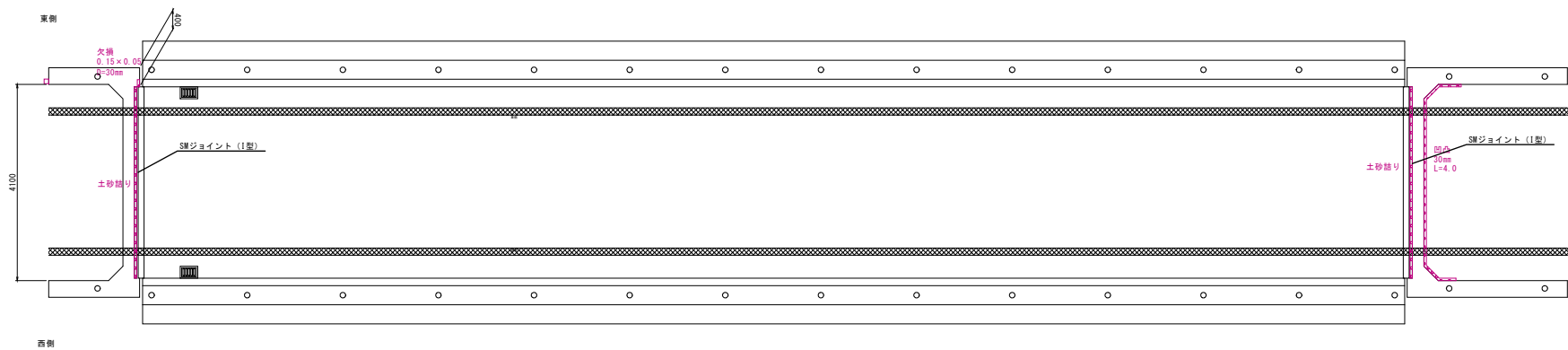
ひびわれ	$w \leq 0.3\text{mm}$	
	$0.3\text{mm} < w \leq 0.5\text{mm}$	
	$0.5\text{mm} < w \leq 1.0\text{mm}$	
	$1.0\text{mm} < w$	
剥離・鉄筋露出	剥離・ジャンカ	
	鉄筋露出	
うき		
漏水・滲水		
錆	発錆	
	腐食	
遊離石灰		
その他		

路線名	農 道
岩船橋梁修繕工事	
図 名	下部工補修図
位 置	琴浦町大字八橋
縮 尺	図示 単 位 mm
図 号	全 7 葉 中の内 5
令和 4 年度施行	
琴浦町役場	

※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。  
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

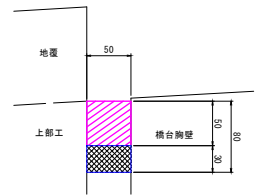
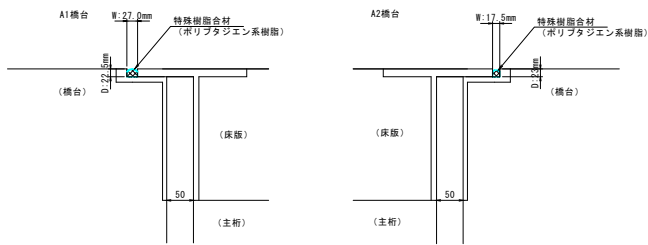
伸縮装置止水工詳細図

橋面 S=1:50



伸縮装置止水工詳細図 S=1:5

地覆用止水工詳細図 S=1:3



伸縮装置数量表

名 称	品名又は仕様	単位	数 量	備 考
伸縮装置工	S Mジョイント (I 型) 同等品	m	8.000	L=4.000+4.000=8.000
本体材料	特殊樹脂 (ポリブタジエン系)	m <sup>2</sup>	0.004	L=4.0 x (0.027 x 0.0225) + 4.0 x (0.0175 x 0.023) = 0.004

※特殊樹脂および付属物一式は、本体材料費に含まれる。

地覆用止水工数量表

品 名	仕 様	単位	数量	備考
地覆用シール材	シリコン系	注	4.0	0.05 x 0.05 x 0.40 x 4 x 1000 = 4.0
バックアップ材	ウレタンフォーム	注	2.4	0.05 x 0.03 x 0.40 x 4 x 1000 = 2.4

※プライマーは地覆用シール材に含まれる。

損傷の凡例

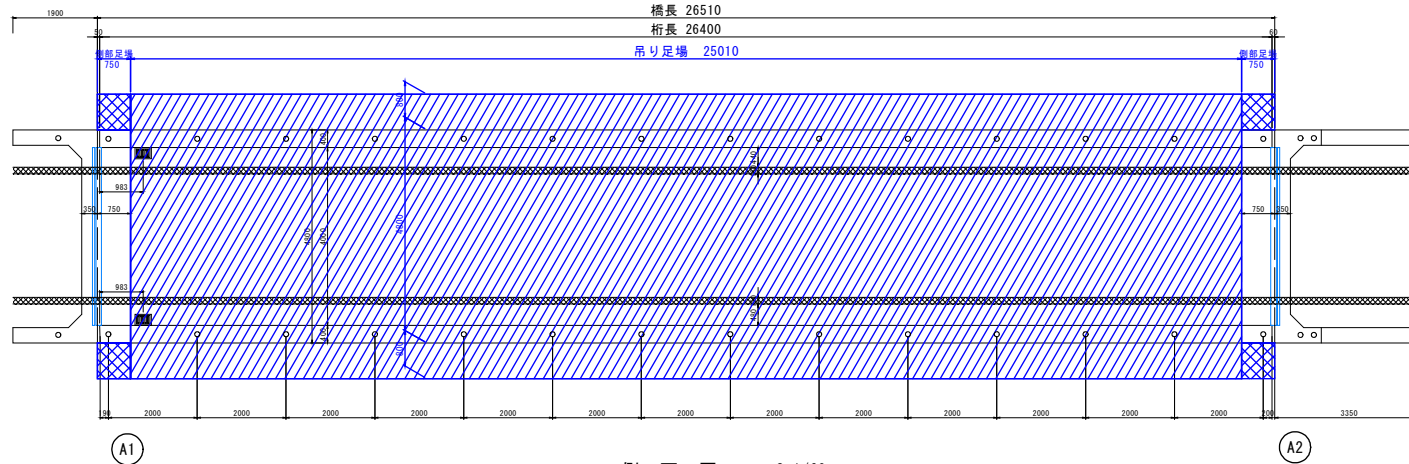
ひびわれ	$w \leq 0.3\text{mm}$	
	$0.3\text{mm} < w \leq 0.5\text{mm}$	
	$0.5\text{mm} < w \leq 1.0\text{mm}$	
	$1.0\text{mm} < w$	
剝離・鉄筋露出	剝離・ジャンカ	
	鉄筋露出	
うき		
漏水・滲水		
錆	発錆	
	腐食	
遊離石灰		
その他		

※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。  
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

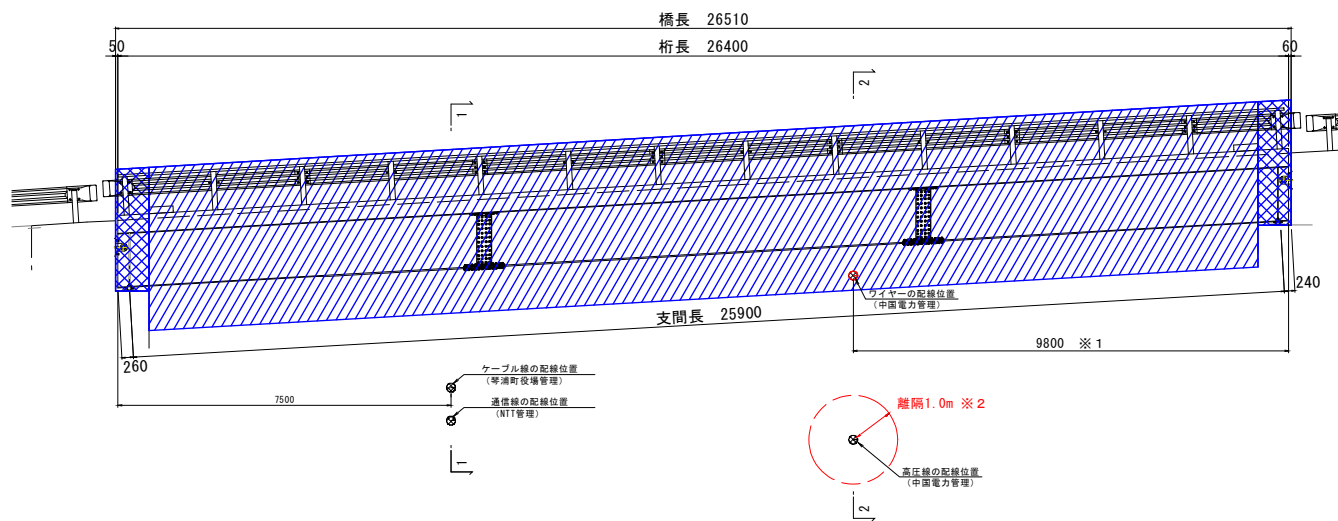
路線名	農 道
岩船橋橋梁修繕工事	
図 名	伸縮装置止水工詳細図
位 置	琴浦町大字八橋
縮 尺	図示 単 位 mm
図 号	全 7 葉中の内 6
令和 4 年度施行	
琴浦町役場	

仮設図

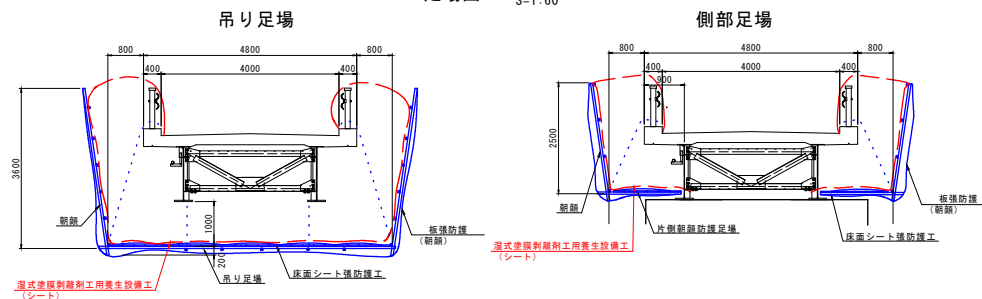
平面图 S=1/60



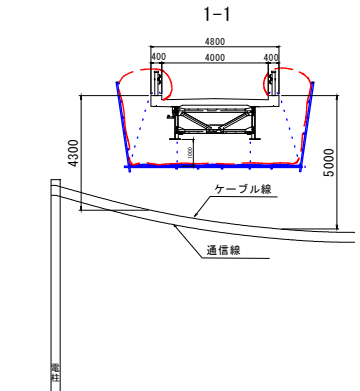
側 面 図 S=1/60



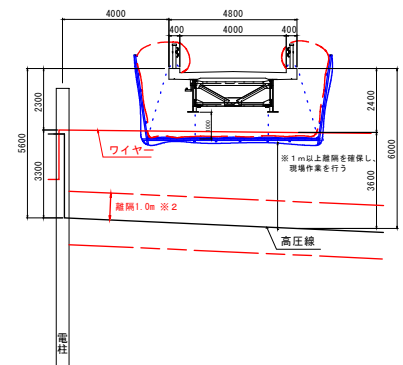
足場図 S=1:60



断面图 S=1:100



2-2



※1 地覆端部（A2側）から、A1方向へ9.8m地点に電柱ワイヤーが通っており、吊り足場設置及び現場作業を行う際に、接触しないように留意する。

※2 電線との離隔1.0m 〈管理者確認〉

路線名	農 道		
岩船橋樑梁修繕工事			
図 名	仮設図		
位 置	琴浦町大字八橋		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全	7	葉中の内 7
令和 4	年度施行		
琴浦町役場			